

未来投資会議 提出資料

2019年11月12日

南場 智子

本日の未来投資会議は欠席のため、下記のとおり書面にて意見を提出いたします。

記

- デジタル市場のルール整備について、現下の課題に対する取組としてまとめられた方向性には賛成である。
- 今後のデジタル市場規制のあり方については、以前も発言したとおり、日本が再び世界を追いかける立場になっている現状を踏まえた、ある程度したたかな戦略も必要である。すなわち、デジタルコンテンツ配信プラットフォームである海外の巨大IT企業に席卷された反省を生かし、日本が相対的に強い分野においては、国益を確保する観点から規制戦略を立てることも必要と考える。
デジタルプラットフォームは、コンテンツ配信や物販だけでなく、モビリティや教育など様々な分野で存在し得るものである。特に我が国が独特の市場特性を有する健康・医療データ、移動データ、プラントデータ等のリアルデータに関するプラットフォームの規制のあり方については、上記の観点を踏まえた議論を先んじて行うことが不可欠と考える。
- また、society5.0の実現、経済活性化の面からは、規制戦略だけでなく、政府をはじめとする公的セクターが持つデータのオープン化も重要である。究極の個人情報と言われる健康・医療情報等、大切なデータの国外流出もケアしながら、こちらも戦略的に進める必要がある。

以上